

検定チェックシート 2015

公益社団法人日本山岳ガイド協会 試験・研修委員会

検定資格：

登山ガイド・ステージⅡ

検定科目：

**積雪期登山道ルートガイディング
自然観察指導技術**

日 程：平成 年 月 日～ 日

検定員氏名： _____

検 定 地： _____

【検定方法】

- ・受験者一人当たり 2～3 時間程度、検定員が適切なコースを指定して検定する。
- ・規定の項目に従って、場所の設定、検定内容、方法等を説明する。
- ・天候、場所受験者人数等状況に応じて検定員の判断で検定順などは適時変更して実施。
- ・検定内容によっては、他の受験者または検定員等をクライアント役に決める。必要に応じてクライアント役の条件を設定（男、女、年齢、体力、経験等）する。
- ・検定に当たり明らかに間違った方法、能力不足で危険な場合は検定を中止させる。検定後に、間違い、知らない技術について講習、研修させても良い。

【検定チェックシート記入目安】

優秀	5 点	〔非常に良い、質的にも量的にも〕
良い	4 点	〔良い、要求に適切に対処できる〕
やや良い	3 点	〔最小限の要求に対処できる〕
やや出来ない	2 点	〔不完全、足りない〕
ほとんど出来ない	1 点	〔非常に足りない〕
まったく出来ない	0 点	〔仕事として使えない、仕事をしなかった〕

【合格基準および検定項目の採点方法】

- ・各項目は 5 点満点評価を行う。
- ・合格基準は満点に対して 70%以上でなければならない。また 2 点以下があってはならない。

項目（各項目5点満点）	受験者氏名					
ルートガイドング						
1. ガイドングに適切な装備について	小合計→					
1 指定した持ち物を所持しているか	(5)					
2 ガイドに適した服装か	(5)					
2. 出発準備について	小合計→					
1 気候に配慮して出発準備をしているか	(5)					
2 顧客の装備のチェックおよびアイゼン等装着時のフォローをしているか	(5)					
3. ガイドング能力 その1(行動)	小合計→					
1 オーダーが適切か、再確認しているか	(5)					
2 参加者の調子や行程に則したペースを作ることができるか	(5)					
3 雪上歩行具等の使い方を指導できるか	(5)					
4 コース取りを的確に出来るか	(5)					
5 休憩を取るタイミング、場所は適切か	(5)					
6 休憩時に体調管理アドバイス(水分・カロリー補給、ウェア調整)及び排泄に関する説明ができていますか	(5)					
7 参加者に配慮した円滑なコミュニケーションが図られているか(エンターテインメント性、顧客の変化に対する気配りなどを解説中にチェックする)	(5)					
8 歩行時の参加者への注意喚起、および安全管理は十分か	(5)					
9 常に現在位置を把握しているか	(5)					
10 天候急変、悪天候下での顧客に対する注意配慮は十分か	(5)					
4. ガイドング能力その2(自然観察・環境配慮)	小合計→					
1 解説についての基礎的な知識があるか	(5)					
2 適切な解説が出来るか(場所、タイミング、時間など)	(5)					
3 山座同定(景観からの同定と地図からの同定)	(5)					
4 スノーシュー等使用時の環境保全上の注意をしたか	(5)					
5 冬季の動植物に対する配慮・指導が出来るか	(5)					
6 楽しめる、興味を持てる解説が出来るか	(5)					

【判定】

合計点 (70点以上が必須、2点以下がないか)						
検定員による評価	Yes No	Yes No	Yes No	Yes No	Yes No	Yes No

講習項目※各項目を完全に理解出来るようにする)

道具の基礎的な知識、及び管理方法						
1 ロープ、カラビナ、スノーシューの積雪時の使用のメンテナンス、特性など						
2 低温対策、ツェルトの様々な使用法など						

実技検定試験の装備について

●登山ガイド積雪期実技検定基本装備

☆印は工夫の範囲で、必需品ではありません。

品名	備考	品名	備考
リュックサック (40%以上)	1(背負搬送の荷重に耐えられる強度のもの)	水筒(真水を含めること)	1
防水スタッフバック	適量(ザック内の全装備を入れられる容量のもの)	サーモス(保温ポット)	1
ツールナイフ	1	行動用食糧	適量
サングラス・ゴーグル	顧客用予備も含めて複数	ビニール袋	適量(ごみ処理用等)
ヘッドランプ	顧客用予備も含めて複数	食器,箸,スプーン,フォーク等☆	1セット
ツェルト	1 (床 130×210cm 程度)	タオル	適量
地図およびルート図	地図は 1/25000 のこと	トイレトペーパー	適量
時計	1	筆記用具	1
プレートコンパス	1	日焼け止め等	1
高度計	1(腕時計タイプで可)	洗面用具☆	1
ファーストエイドキット	1(防寒対策も忘れず)	健康保険証	1(コピー可)
テーピングテープ	1(38mm幅)	顧客用予備手袋	適量
バーナー&燃料+クッカー	1 ※注1	顧客用予備防寒着	適量
ライター	1	宿泊施設での着替え☆	適量
検定地域のガイド用資料	適量(図鑑・観察用具等)	その他ガイドとして必要なもの	適量(修理用具など)
顧客配布用ガイド資料	7部以上		

○持参する装備は容量重量共に工夫し必要なものはすべて忘れないこと。

(装備の不備があった場合、検定評価対象以外のものであっても、減点の対象になることがある。)

○ガイドに相応しい服装とは、検定エリアの気候・地理に合うもので、プロとして清潔感があること

○検定日の昼食は行動食として各自で工夫すること。

※注1 航空機を利用して受験される方は燃料の持参が無くても可。

●積雪期実技検定試験に伴う専門装備

品名	備考	品名	備考
クライミングロープ (8mm×30m以上)	1	スノースコップ	1
安全環付カラビナ (1枚は、HMS)	3	ストック (雪用リング着用のこと)	1セット
カラビナ	2	冬季ガイドに相応しい服装	一式
ソウンスリング 150~180 c m	1	冬季用登山靴	1セット
ソウンスリング 120 c m	2	ピッケル (縦走用)	1
ソウンスリング 60 c m	2	アイゼン	1セット
		スノーシュー	1セット

検定概要 (コース・内容)】

【受講者への講評】